

# SPANCRETE CORPORATION

## Investors' Guide IR 2014

会社情報



大船渡魚市場（外壁・間仕切壁・合成床）

## 株式会社 スパンクリートコーポレーション

本 社

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-3

Tel:03-5689-6311 Fax:03-5689-6321

[www.spancretecorp.com](http://www.spancretecorp.com)

**JASDAQ** 〈JASDAQスタンダード・コード 5277〉

# ● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

## インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと存じますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

## ■ 2014年3月期について

日本経済は、政府による経済政策や日銀の量的・質的金融緩和の導入により、円安・株高の流れが続く中で景気は緩やかな回復を見せましたが、円安により輸入価格が上昇するなどリスクもあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、2014年3月期の当社の業績は、売上高28億5千7百万円（前年同期比29.4%減）、営業利益2億4千6百万円（前年同期比56.2%減）、経常利益2億7千1百万円（前年同期比52.5%減）となりました。当期純利益につきましては、法人税等合計1億1千4百万円等を計上したことにより、1億5千7百万円（前年同期比60.5%減）となりました。

事業別の業績は、次のとおりであります。

### ① スパンクリート事業

2014年3月期（第52期）は、2013年8月より鉄道関連の需要が谷間に陥り、生産・出荷数量が低迷したことから、売上数量が対前年同期比39.4%減少し、売上高は25億3千万円（前年同期比32.1%減）、営業利益8千万円（前年同期比79.4%減）となりました。

一般建築の壁材につきましては、スパンクリート部材に優位性があるため比較的好調な受注を保っておりますが、リーマンショック以降低迷しております集合住宅関連の床材につきましては、2014年3月期には受注数量の復活の目途がつかず、更なるコスト競争力強化が喫緊の課題と考えております。

### ② 不動産事業

2014年3月期（第52期）は、賃貸ビル4棟が安定収益を計上しており売上高3億2千7百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益1億7千万円（前年同期比1.7%減）となっております。

## ■ 2015年3月期の業績

2015年3月期は、スパンクリート事業の売上数量は若干の増加を見込んでおりますが、前述のとおり鉄道関係の需要減が見込まれるため、厳しい状況が続いております。不動産事業の賃貸ビルの安定収益は見込まれるものの、全体としては売上高28億円、営業利益1億7千万円、経常利益1億7千万円、当期純利益1億円を見込んでおります。なお、鉄道関連の受注動向に関しましては、中・長期的には順調な受注を確保できる見通しであります。

適正な生産数量を確保するためにも、安定的市場として需要を期待できる集合住宅の床板への受注復活が当社の課題であり、そのための生産コスト削減が必要不可欠であります。

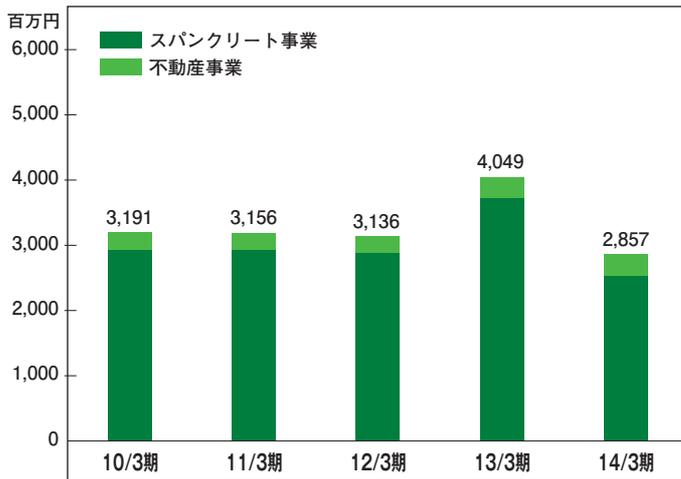
## ■ 配当の見通し

2015年3月期につきましては、上述の業績見通しの達成を前提に1株5円の配当を予定しております。

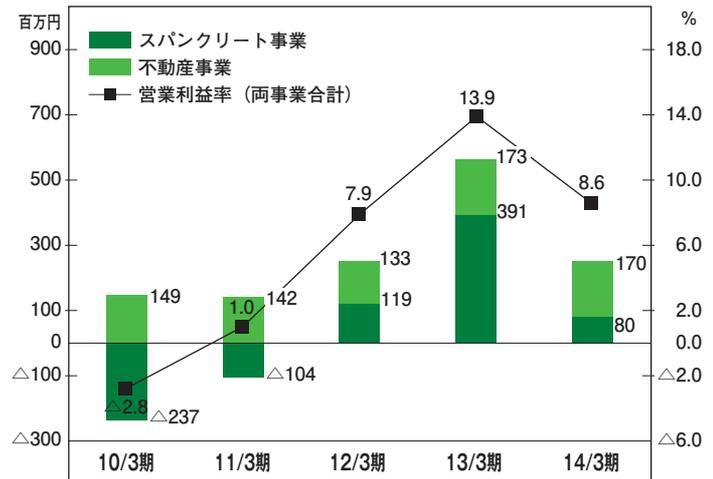
## ■ 今後の経営方針

1. 生産コスト削減のための工場の生産システムの合理化
2. スパンクリート製品の販路の再構築～新規分野への折り込み活動
3. スパンクリート製品の付加価値の高い戦略製品の開発・販売
4. 顧客満足度経営を重視したスパンクリート製品の徹底した品質管理
5. 収益基盤である不動産事業の安定的運用

## 売上高



## 営業利益



## 損益計算書要旨

(単位：百万円)

	12/3期	(%)	13/3期	(%)	14/3期	(%)
売上高	3,136	100.0	4,049	100.0	2,857	100.0
売上原価	2,390	76.2	2,916	72.0	2,083	72.9
販売費及び一般管理費	497	15.9	571	14.1	527	18.5
営業利益	248	7.9	561	13.9	246	8.6
営業外利益	38	1.2	10	0.2	25	0.9
経常利益	286	9.1	572	14.1	271	9.5
特別損益	△9	△0.3	△67	△1.6	0	0.0
税引前当期純利益	276	8.8	504	12.5	271	9.5
法人税、住民税及び事業税	6	0.2	43	1.1	88	3.1
法人税等調整額	△106	△3.4	62	1.5	25	0.9
当期純利益	376	12.0	399	9.9	157	5.5

営業利益の内訳  
 スパンクリート事業 2,530百万円  
 不動産事業 327百万円

営業利益の内訳  
 スパンクリート事業 80百万円  
 不動産事業 170百万円  
 共通費用 △4百万円

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	12/3期	13/3期	14/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー 営業活動から得たキャッシュ	286	714	606
投資活動によるキャッシュ・フロー 投資活動から得たキャッシュ	△621	97	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー 財務活動から得たキャッシュ	△6	△44	△120
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2	△0
現金及び現金同等物の増減額	△341	770	406
現金及び現金同等物の期首残高	2,215	1,874	2,644
現金及び現金同等物の期末残高	1,874	2,644	3,050

仕入債務などの資金の減少より、税引前当期純利益、減価償却費、売上債権などによる資金の増加が上回ったため

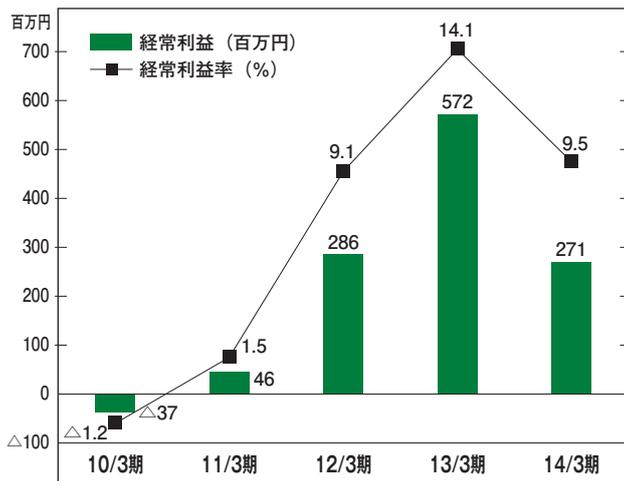
有価証券及び投資有価証券の売却による収入より、有形・無形固定資産の取得による支出が上回ったため減額

配当金等の支出

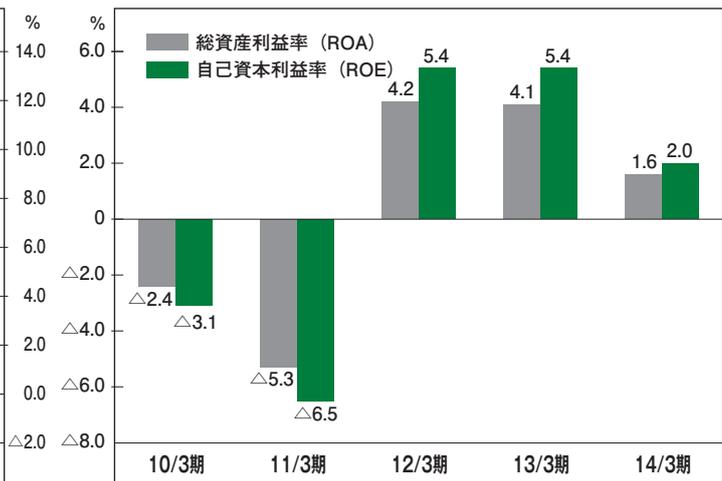
## 財務諸表コメント

〔14/3期〕 鉄道関連の一時的な需要の減少により生産・出荷数量が低迷したことから売上数量が減少し、前期と比べて減益となりましたが黒字を確保しました。

## 経常利益



## 総資産利益率・自己資本利益率



## 貸借対照表要旨〈資産の部〉

(単位：百万円)

	12/3期	13/3期	14/3期	(%)
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>	<b>3,196</b>	<b>3,927</b>	<b>3,811</b>	<b>39.7</b>
現金及び預金	1,589	2,359	2,765	
受取手形及び売掛金等	909	978	473	
有価証券	390	285	285	
たな卸資産	176	239	239	
繰延税金資産	106	44	18	
その他	25	21	29	
<b>固定資産</b>	<b>5,838</b>	<b>5,812</b>	<b>5,799</b>	<b>60.3</b>
有形固定資産	5,118	5,055	5,005	52.1
無形固定資産	15	42	94	1.0
投資その他の資産	704	714	699	7.2
投資有価証券	629	639	629	
保険積立金	12	10	10	
その他	62	65	59	
<b>資産合計</b>	<b>9,035</b>	<b>9,740</b>	<b>9,610</b>	<b>100.0</b>

## 貸借対照表要旨〈負債・純資産の部〉

(単位：百万円)

	12/3期	13/3期	14/3期	(%)
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>	<b>981</b>	<b>1,138</b>	<b>951</b>	<b>9.9</b>
短期借入金	600	600	600	
その他	381	538	351	
<b>固定負債</b>	<b>842</b>	<b>891</b>	<b>884</b>	<b>9.2</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,823</b>	<b>2,030</b>	<b>1,836</b>	<b>19.1</b>
<b>純資産の部</b>				
<b>株主資本</b>				
資本金	3,295	3,295	3,295	34.3
資本剰余金	3,696	3,696	3,696	38.5
利益剰余金	191	551	593	6.2
自己株式	△370	△370	△370	△3.9
<b>評価・換算差額等</b>				
その他有価証券評価差額金	△9	127	150	Point ② 1.6
土地再評価差額金	408	408	408	4.2
<b>純資産合計</b>	<b>7,211</b>	<b>7,709</b>	<b>7,774</b>	<b>80.9</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,035</b>	<b>9,740</b>	<b>9,610</b>	<b>100.0</b>

Point① 生産・出荷数量減少による流動負債の減少

Point② 株価の上昇により増額

## 財務諸表コメント

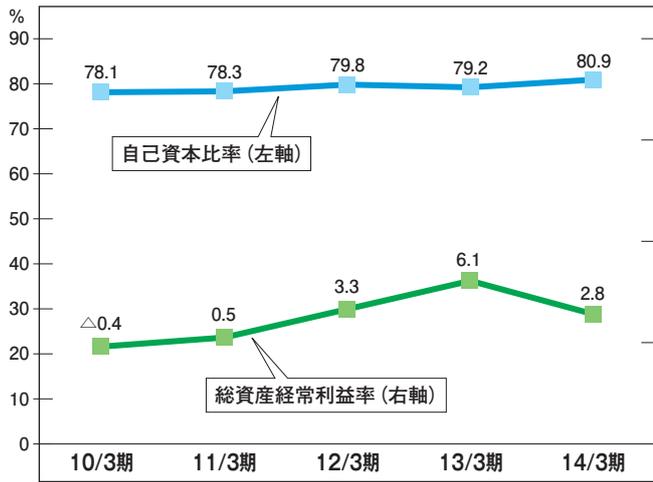
〔12/3期〕

長期的な景気低迷によりマンションをはじめとする建設需要減の影響を受けたものの、前事業年度後半に実施した構造改革の効果が顕著に現れ始め黒字を確保することが出来ました。

〔13/3期〕

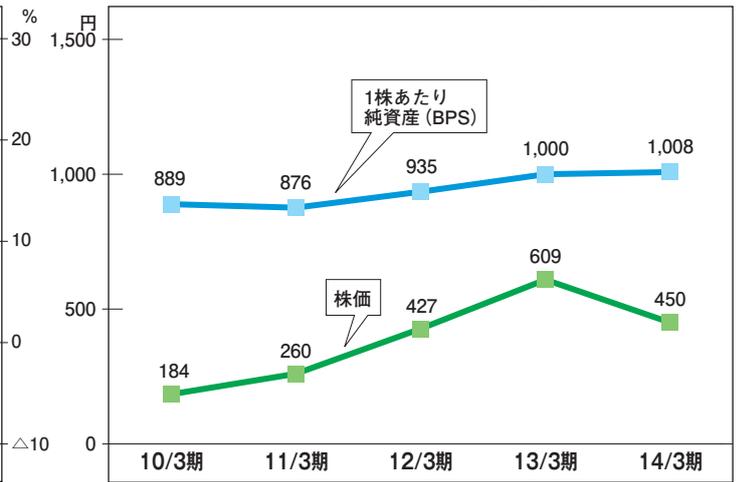
売上数量が増加し、また鉄道関連などの需要が好調であったことに加え、前々事業年度より実施してきた構造改革の効果が現れたことから営業成績が好調であり、前期に引き続き増益となりました。

## 自己資本比率と総資産経常利益率

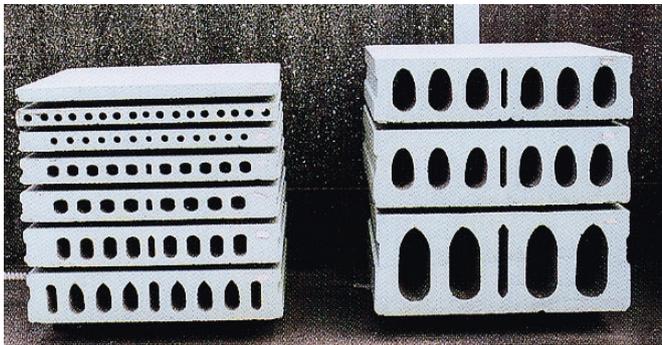


## 株価の推移 (終値)

期末株式総数 9,320,400株  
うち自己株式 1,611,898株



## スパンクリート



スパンクリート標準製品。スパンクリートは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。床材として、また壁材として建築から土木まで多目的に使用可能な材料です。厚さ7cmから35cmまで17種類。高耐力、ロングスパンが特長です。当社はスパンクリートの生産・販売を行っております。

## 今期の主な実績

### 〈マンション〉合成床



#### 武蔵小杉駅前マンション

今話題の武蔵小杉駅前のタワーマンション。各階に合成床が採用されました。

### 〈オフィスビル〉床



#### 飯田橋駅前マンション棟 飯田橋駅前オフィス棟

飯田橋駅前に竣工したタワーマンションとオフィスビル。マンションの各住戸に合成床、オフィスの重荷重床対応床に床板が採用されました。



#### 〈発電所〉外壁

阿賀野川の豊かな水源を利用した水力発電所の外壁に長さ9m、幅2m、1枚の重量約5tのワイドパネルが採用されました。



#### 〈北海道新幹線スノーシェルター〉防音壁 トンネル出入口に併設されます。



### 〈日光湯滝観瀑台〉床板

観光地のため、冬季雪中の工事となりましたが、スパンクリート床板の長所が活かされた仕上がりとなりました。



### 〈教育施設〉合成床板

小梁を無くし、のびのびとした大空間を合成床にて実現しました。



### 〈環境センター余熱利用施設〉外壁・タイル貼り

タイル貼りをした厚さ100mm、幅1,800mmのワイド板が採用されています。



### 〈物流施設〉スタイロフォーム打込床パネル

1階床のスパンクリート合成床裏面に結露防止のためスタイロフォーム（優れた断熱材）を打込みました。



### 〈冷凍倉庫〉外壁・間仕切り壁

外壁は幅1,800mmのワイド板が採用され、重厚な外観と工期短縮を実現しました。



### 〈冷凍倉庫〉外壁・間仕切り壁

三陸大船渡 震災跡地の冷凍倉庫に採用されました。

## トピックス

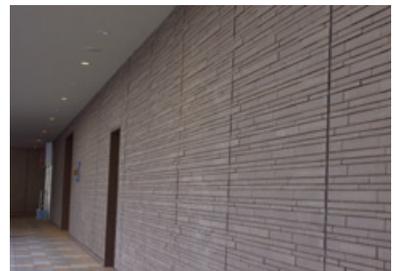
### □魚市場（デザインパネル）

岩手県大船渡市に建設された県内一の魚市場です。  
建設途中に東日本大震災で被災した建物が完成を迎えました。  
各階の床と外壁に使用され、外壁は溝加工をほどこしたデザイン性のある  
スパンクリートが採用されています。



### □ホテル外壁（ワイドパネル・タイル貼り）

ホテルの外壁に採用されました。  
ワイドパネルを使用し、表面には重厚感あるタイルを貼りつけた仕様になっ  
ています。  
ワイドパネルを使用することにより、工期短縮にも貢献しました。



## ひとこと



代表取締役社長

飯牟礼 聡  
いむれ さとし

2014年3月期はお蔭さまで黒字決算にはなりましたが、2013年3月期に比べて内容は劣るものになりました。この原因は土木関係の売上が若干落ち込んだためですが、建築関係や不動産の賃貸収入は安定した収益を上げることが出来ました。

今期2015年3月期の業績予想は先期より抑え目の数字になりますが黒字は確保する見込みです。

さて、当社の収益力は拡大し安定させる事が出来ると思っております。このために、今期は選択と集中を徹底的に進める年にしたいと思っております。当社の利益は幅広い需要のひとつひとつが重なって築かれるものですが、より効率良く収益を上げるためには、各分野の特色を吟味しお客様のニーズに答えた製品が大切です。これらを徹底的に洗い出し、効率的かつ大胆な改革を進めたいと考えております。また、会社を強い筋肉質の体制にするための選択と集中を深めたいと思っております。引き続きみなさまのご支援をお願い致します。

## 会社の概要

1. 会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション  
(英文名) SPANCRETE CORPORATION
2. 設立 1963年(昭和38年)3月23日
3. 資本金 32億9,590万円(2014年3月31日現在)
4. 役員  
代表取締役社長 飯牟礼 聡  
取締役相談役 齊藤 建次  
取締役 菊池 透  
取締役 村山 典子  
\* 取締役 分藤 潔  
\* 取締役 大野 浩司  
\* 取締役 坪井 哲明  
\*\* 常勤監査役 森 康裕  
\*\* 監査役 松岡 幸秀  
\*\* 監査役 阿部 裕三  
(2014年6月20日現在)  
\*は社外取締役です  
\*\*は社外監査役です
5. 本社 東京都文京区湯島2-4-3  
〒113-0034 TEL(03)5689-6311  
仙台営業所 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-6-12-208  
〒981-0904 TEL(022)272-1901  
宇都宮工場 栃木県宇都宮市平出工業団地8-5  
〒321-0905 TEL(028)661-2211
6. 取引銀行 みずほ銀行(丸の内中央支店)  
三菱東京UFJ銀行(神田駅前支店)  
りそな銀行(上野支店)  
三菱UFJ信託銀行(本店)

## 主要取引先

- 設計事務所 三菱地所(株)・(株)日本設計・(株)日建設計・(株)日建ハウジングシステム・東電設計(株)・(株)松田平田設計・(株)梓設計・(株)創元設計・(株)横河建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・(株)久米設計・(株)石本建築事務所 他
- 商社 三菱商事(株)・三菱商事建材(株)・三井住商建材(株) 他
- 建設会社 鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店・(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)・三井住友建設(株)・鉄建建設(株) 他

## 大株主

- 1 三菱商事(株)
  - 2 日本スパンクリート機械(株)
  - 3 鈴木金属工業(株)
  - 4 村山 典子
- 5 村山 知子

## 会社の沿革

- 1963年 3月 スパンクリート製造株式会社(旧社名)設立  
資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任
- 4月 資本金4,000万円に増資
- 7月 資本金1億円に増資
- 1964年 2月 宇都宮第1工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
- 7月 資本金2億円に増資
- 1970年 10月 宇都宮第2工場建設完了 生産開始
- 1971年 4月 日本スパンクリート協会を設立 会長に当社代表取締役社長村山好弘就任
- 1975年 10月 空胴プレストレストコンクリートパネル工業協会(穴あきPC板工業協会)設立  
会長に当社代表取締役社長 村山好弘就任
- 1976年 5月 JISA6511(空胴プレストレストコンクリートパネル)制定される
- 1979年 12月 資本金2億3,000万円に増資
- 1982年 12月 宇都宮工場 JIS指定工場となる
- 1984年 3月 スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得
- 7月 宇都宮第3工場生産設備完了 生産開始
- 1988年 11月 資本金2億9,000万円に増資
- 1989年 5月 スパンクリート合成床工法 特許を取得
- 10月 資本金4億2,434万円に増資
- 11月 資本金14億9,759万円に増資
- 11月 岩瀬工場建設完了 生産開始
- 1990年 2月 スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
- 1991年 2月 社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパンクリートコーポレーションに変更
- 4月 スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞
- 9月 株式を公開(店頭) 資本金32億3,459万円に増資
- 1992年 4月 当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒章受賞(スパンクリート合成床の発明考案など業務精励)
- 5月 株式を1対1.4に分割
- 1993年 5月 岩瀬工場 JIS指定工場となる
- 1996年 7月 本社を文京区本郷4丁目に移転
- 2003年 8月 Jスラブ(組立床工法)財団法人日本建築センターの構造評定を取得
- 2004年 3月 明星プレテック株式会社(4月プレテック株式会社に社名変更)の株式を100%取得
- 2005年 5月 宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 ISO 9001認証取得
- 6月 原田稯代表取締役社長就任
- 11月 1単元の株式数を1,000株から100株に変更
- 2006年 3月 プレテック株式会社解散
- 10月 普通株式1株を2株に分割
- 2010年 6月 齊藤建次代表取締役社長就任
- 7月 本社を文京区湯島に移転
- 11月 岩瀬工場閉鎖  
生産設備を宇都宮工場に統合
- 2013年 6月 飯牟礼聡代表取締役社長就任



宇都宮工場